

取組事例 地域の気候風土や資源を活かした特産品開発の推進

(積丹町)

積丹町では、積丹半島の気候風土が育んだ、樹木の実や香草植物(ボタニカル)を生かし、国内初のボタニカル栽培からジンの蒸溜まで一貫して生産・販売を行う民間会社を設立。その拠点である「積丹ブルー蒸溜所」を核として、民間主導の官民連携による新たな地域づくりを進める取組みを推進する。

関連数値目標・KPI

数値目標	基準値 (H26)	実績 (R元)	目標値 (R元)	進捗率 (%)
新規就業者数 (人)	—	11	5	220.0
新規起業件数 (件)	—	4	3	133.3

取組の推進体制

平成28年度から官民連携による事業化に向けた調査研究を進め、平成30年3月には、産学官金関係者、ふるさと納税寄付者、観光サポーター等、道内外の積丹町と関わりのある方々で構成する「積丹応援団」の力により、「株式会社積丹スピリット」を設立。令和元年8月には、産学官金連携事業として、国・金融機関の支援が決定。

課題と今後の対応状況

本事業の到達点の1つは、この販売を通じて、観光振興や森林・農地資源の有効活用等につなげることにあり、今後の課題は、購入顧客を通じた積丹町及び積丹半島の魅力の更なるPRを進めることにある。

今後は、自然資源のみならず、食、酒を活かした新たな体験・滞在型の体験ツアーづくり等を通じて、地域経済の活性化、さらには、域内資金循環、新たな資金誘導も図り、産業育成を図る。

取組事例

積丹GIN開発等事業

○主な取組

積丹町の地方創生を推進するプロジェクト。積丹半島に自生する香草植物のミヤマバクシンやウワミズザクラ、アカエゾマツの他、荒れた農地で栽培しているハーブ等をブレンドし、ボタニカルの風味を最大限に活かした蒸溜酒の生産・販売を目指す。



○主な成果

町営温泉「岬の湯しゃこたん」の隣接地に、国内初のクラフトジン蒸溜所が建設され、令和2年5月23日より蒸溜を開始。世界中のすべての方々の明るい未来への「希望」を願い、同年6月5日から蒸溜酒積丹ジン火の帆「KIBOU」のインターネット販売を開始し、7月6日時点で全国約1,000人から注文が殺到し、初回蒸溜品約2,000本は完売。

積丹ジン火の帆「KIBOU」とともに、ボタニカルを身近に感じてもらうため、クラフトジンに使用するボタニカルのフレーバーを生かしたチョコレートも開発、ジンとコラボとした予約販売では即完売するなど、お酒好きの方を中心に幅広い客層からの人気を獲得。



※写真は積丹ブルー蒸溜所外観、蒸溜機、ボタニカル農場、積丹ジン火の帆「KIBOU」